

発明の名称: アスタキサンチンの製造方法

利用・用途・応用分野

無料開放特許

化粧品、医薬品、健康食品、魚介類の養殖業、鶏卵・家禽用飼料製造分野

目的・課題

従来の天然物由来のアスタキサンチン製造方法や微生物の培養法は、アスタキサンチン含有量が低く、アスタキサンチンの抽出や精製等にも技術的、経済的問題がある。安価な原料から、天然の生合成経路を利用した、製造コストが低いアスタキサンチン製造技術の開発ソースとして微生物によるアスタキサンチン生産に期待が寄せられている。

解決ポイント

藻類モノラフィディウム属(Monoraphidium属)の微細生物はアスタキサンチン生産能が高く、生物内に多量のアスタキサンチンを蓄積することを見出した。
この微細生物はアスタキサンチン生産微細生物の培養条件よりもはるかに簡単であり、安価である。

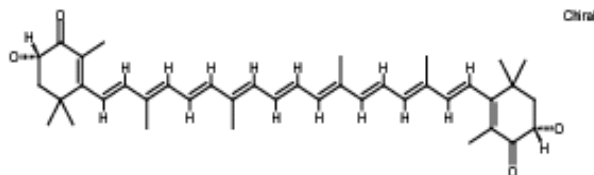
研究概要・アピールポイント

- (1) 藻類モノラフィディウム属(Monoraphidium属)を簡単な方法で培養でき、その藻類からアスタキサンチンを抽出、アスタキサンチンを安価に提供できる。
- (2) アスタキサンチンを含有する安価な魚介類、家禽類用飼料を提供できる。
- (3) モノラフィディウム属藻類の破砕物を含有する魚介類用又は家禽類用の飼料。



【図1】新規微細藻類の顕微鏡写真

特性 : 赤色 β -カロテノイド、抗酸化作用



【図2】アスタキサンチンの化学構造

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp